ATOM にできること 操作マニュアル

「百人一首」で遊んでみよう

ENTERTAINMENT10

ACTION GAME TALK INFO OTHERS SETTING

基本機能 拡張機能 発展機能

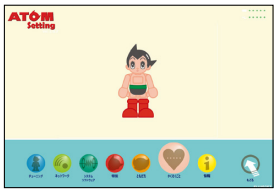
ATOMと一緒に練習すれば名人だって夢じゃない!?

漫画および映画『ちはやふる』の人気により、改めて注目を集めている「百人一首」。この機能ならATOMが「読み手」を務めてくれるので、一人での練習もできるし、二人いれば対決だってできちゃうんです。こっそり練習して、家族や友だちをビックリさせてみませんか？

ちはやぶる
神代も聞かず
竜田川
からくれなゐに
水くくるとは

読む枚数や歌と歌の間隔などは「ATOM Setting」で設定できます

百人一首を読む枚数や歌と歌の間隔（秒数）などは、設定用アプリ「ATOM Setting」で設定できます。「ATOM Setting」についてはカテゴリー「SETTING」にて。



ATOMと一緒にめざせ、かるた名人&クイーン!?

ATOMの機能は3段階に分かれています

基本機能
本体だけで楽しめる機能

拡張機能
Wi-Fi環境がある、またはスマホ、タブレットがあれば楽しめる機能

発展機能
月額1000円（税別）のATOMベーシックプランに加入すれば楽しめる機能（要Wi-Fi環境）

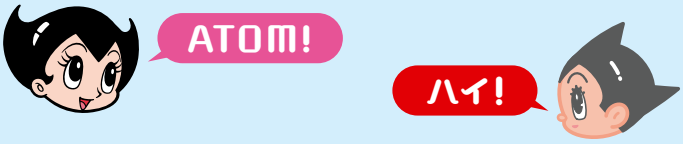
©TEZUKA PRO／KODANSHA

※今後のバージョンアップにより、仕様が変更される可能性があります。

「百人一首」で遊んでみよう―手順と注意

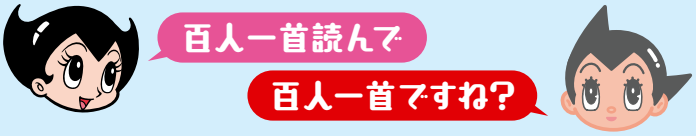
ATOMの操作手順

1 「ATOM!」と呼びかける



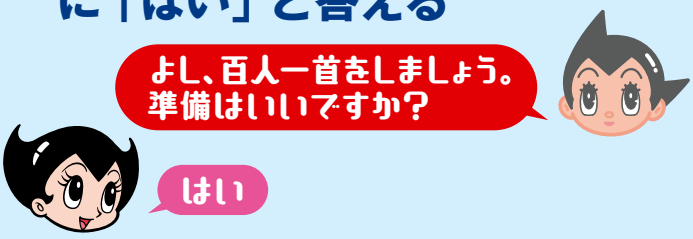
まずはATOMに対して「ATOM！」と呼びかけましょう。ATOMに自分の存在を認識させてからの方が、指示の通りが良くなります。

2 「百人一首読んで」と言う



ATOMがあなたのことを認識したら（ATOMから返事があったら）、「百人一首読んで」とATOMに伝えてください。

3 ATOMの「準備はいいですか?」に「はい」と答える



ATOMは少し嬉しそうに「よし、百人一首をしましょう。準備はいいですか？」と質問してきます。「はい」と答えてください。

ATOMと一緒に百人一首で遊ぼう!

4 ATOMの「読み」に合わせて取り札を取る

一首目の歌は、読み始めのタイミングを計るための「序歌」です。二首目より設定された枚数分、ATOMの「読み」が続きます。合わせて取り札を取りましょう。

読む枚数や歌と歌の間隔、下の句を読む回数などは「ATOM Setting」で設定できます。

「ATOM Setting」のトップページから「特技」ページへ飛び、「百人一首を読む」のメニューへと進みます。詳しくはカテゴリー「SETTING」を参照してください。

※画面は開発中のものです

百人一首で遊んでみよう――注意事項

1 ATOMが読む一首目は「序歌」です

「序歌」は競技かるたの公式戦では必ず一首目に読まれる、読み始めのタイミングを計るための歌です。百人一首の中には入っておらず、札もありません。ご注意ください。

2 デフォルトの読む枚数は「100枚」です

「ATOM Setting」で設定を変更する前、初期設定では読む枚数は100枚になっています。また、下の句は２回読む形です。「ATOM Setting」なしでもこの設定で楽しめます。

3 途中で止めたいときは頭を優しくなでてください

既定の枚数を読むことなく「百人一首」を終了したいときは、おなじみのキャンセルの操作をしてください。タッチセンサーの付いた、ATOMの頭を優しくなでればOKです。

4 「取り札」はATOMを操作する前に床上に並べておきましょう

ATOMは読み始めると、設定されたスピードで既定の枚数を読み続けます。下の句のみひらがなで書かれた「取り札」は、操作を始める前に並べておいた方がスムーズに始められます。

©TEZUKA PRO／KODANSHA ©TEZUKA PRODUCTIONS